

SPA3000 の自動 PSTN フォールバックのイネーブル化

目次

概要

[SPA3000自動PSTNフォールバックを有効にするにはどうすればよいか。](#)

関連情報

概要

この記事は、Cisco Small Business 製品のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援する一連のドキュメントの1つです。

Q. [SPA3000自動PSTNフォールバックを有効にするにはどうすればよいか。](#)

A.

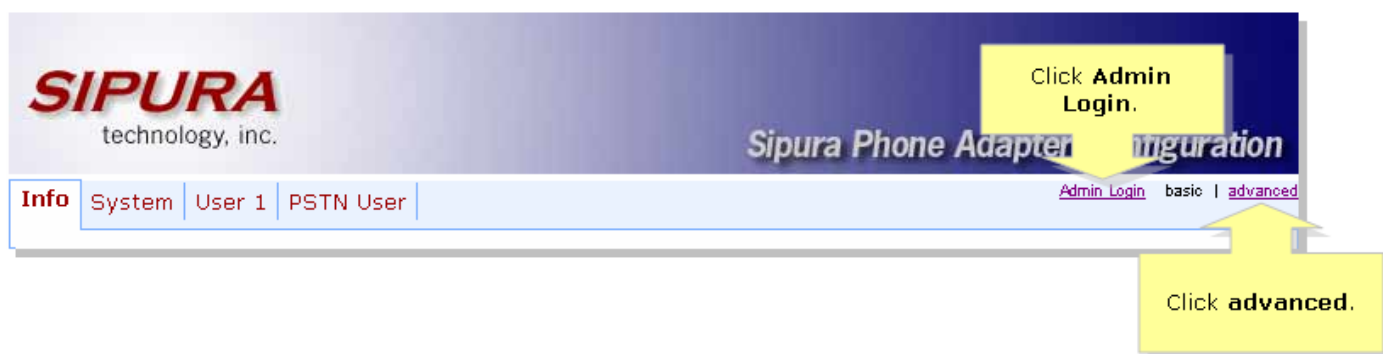
SPA3000自動PSTNフォールバックが[Yes]に設定されているとします。ダイヤルプランで示すようにプレフィックス番号9にダイヤルインする（電源障害または物理的に）電源オフにデバイスがあれば市内番号にダイヤルできます。

ステップ 1:

SPA3000 の Web ベース セットアップ ページにアクセスします。手順については[ここ](#)をクリックしてください。

ステップ 2:

続行[Adminでログインします。



ステップ 3:

行をクリックし、1でPSTNフォールバックを検索し、Yesに自動PSTNフォールバックを設定します。

VoIP Fallback To PSTN	
Auto PSTN Fallback:	<input type="text" value="yes"/>
Dial Plan	
Dial Plan:	<input type="text" value="(*xx [3469]11 0 00 [2-9]xxxxxx 1xxx[2-9]xxxxxxS0 xxxxxxxxxxxxxx.)"/>
Enable IP Dialing:	<input type="text" value="no"/>
FXS Port Polarity Configuration	
Idle Polarity:	<input type="text" value="Forward"/>
Caller Conn Polarity:	<input type="text" value="Forward"/>
Callee Conn Polarity:	<input type="text" value="Forward"/>

Set **Auto PSTN Fallback** to **yes**.

ステップ 4 :

をクリックします。 .

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)